

御代田町まちづくり事業支援金

【応募の手引き】

御代田町企画財政課

目 次

I 御代田町まちづくり事業支援金の内容	1
1. 支援対象団体	1
2. 支援対象事業	1
3. 支援対象外事業	1
4. 支援金交付額	1
5. 支援金交付対象経費	1
6. 支援金交付対象外経費	2
7. 選考方法	2
8. 事務事業の流れ	3
II 御代田町まちづくり事業支援金の応募方法	3
III 御代田町まちづくり事業支援金交付要綱・様式	4
御代田町まちづくり事業支援金交付要綱	4
・御代田町まちづくり事業計画書（様式第1号）	7
・御代田町まちづくり事業選考結果通知書（様式第2号）	10
・御代田町まちづくり事業支援金交付申請書（様式第3号）	11
・御代田町まちづくり事業支援金交付決定通知書（様式第4号）	13
・御代田町まちづくり事業支援金概算払請求書（様式第5号）	14
・御代田町まちづくり事業支援金変更承認申請書（様式第6号）	15
・御代田町まちづくり事業支援金交付廃止承認申請書（様式第7号）	16
・御代田町まちづくり事業支援金事前着手届（様式8号）	17
・御代田町まちづくり事業支援金実績報告書（様式第9号）	18
・御代田町まちづくり事業支援金確定通知書（様式第10号）	20
・御代田町まちづくり事業支援金交付請求書（様式第11号）	21
・団体調書（様式1）	22
・構成員名簿（様式2）	23
・【記載例】御代田町まちづくり事業計画書（様式第1号）	24
・【記載方法】団体調書（様式1）	27
・【記載方法】構成員名簿（様式2）	28
IV 御代田町まちづくり事業支援金活用事業	29
Q & A	35

I 御代田町まちづくり事業支援金の内容

区やボランティア団体など公共的な活動を行っている団体の皆さまが、自ら創意工夫し企画した事業の経費の一部を助成する制度です。

1. 支援対象団体

町内に住所を有する者 5 人以上で構成する団体で、政治・宗教・営利・反社会的活動等を目的としない団体です。

2. 支援対象事業

町内において申請年度に完了する事業で、次の要件を備えた事業です

- (1) 不特定多数の者の利益につながる事業（公共性）
- (2) 地域住民が協働し、コミュニティの形成ができる事業（協調性）
- (3) 独自の発想や新たな視点による事業（独創性）
- (4) 波及効果や新たな展開が期待できる事業（発展性）
- (5) 計画や費用に実現性・継続性が期待できる事業（実現性・継続性）
- (6) 他の補助を受けていない事業

3. 支援対象外事業

- (1) 団体が継続的に行っている定着したイベント、行事等。
- (2) 備品などの購入が主となる事業
- (3) 政治・営利・宗教・反社会的活動を目的とする事業
- (4) 町長が適当でないと認めた事業

4. 支援金交付額

交付対象経費の 2 分の 1 以内（1 回につき 20 万円を限度）

5. 支援金交付対象経費

謝金・賃金、旅費、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、使用料・賃借料、原材料購入費です。なお、事業完了後の実績報告書提出の際には、日付や金額、宛名が明確な領収書などの証拠書類が必要となります。

また、対象経費項目の中において、内容により対象とならない経費もありますので、ご注意ください

経費の項目	対象となる例	対象とならない例
謝金・賃金	催し等の講師、専門家等（団体構成員以外）への謝金。	団体の構成員に対する謝金や賃金
旅費	講師や専門家等の交通費実費。事業実施に必要な講習会などへの旅費。	団体構成員による先進地視察等の旅費。
消耗品費	事業に必要な 3 万円未満の物品購入費。	対象事業以外の物品。※3 万円以上の物品は備品となり、対象になりません。
印刷製本費	催し等のチラシやポスター作成費用。	団体の会報誌等の作成費用。
通信運搬費	催しの案内やポスター送付のための費用。	対象事業以外の通信運搬費。
使用料・賃借料	事業のために必要な会場等の使用料。必要な機材の借上料。	対象事業以外の使用料・賃借料。
原材料購入費	事業のために必要な植木や苗木の費用。	対象事業以外の原材料購入費。

6. 支援金交付対象外経費

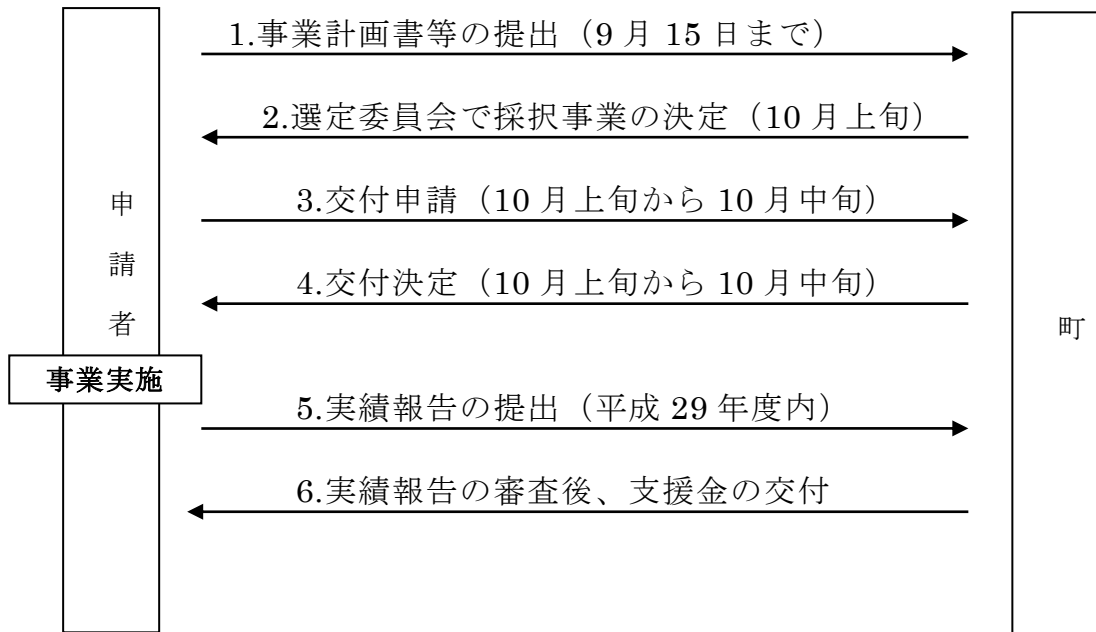
次の経費は全て対象外経費となります。

- (1) 事務所の家賃や光熱水費
- (2) 加入団体への会費や経常業務を行う事務局員の人件費等
- (3) 会議の茶菓子代、懇親会費等
- (4) 講座開催時等に会員が講師になった場合の謝礼
- (5) 備品購入費

7. 選考方法

まちづくり事業支援金選定委員会の意見をもとに選考します。

8. 事務事業の流れ



※「事前着手届」を提出することにより、交付決定前であっても事業着手が可能です。

II 御代田町まちづくり事業支援金の応募方法

次の書類1部を企画財政課へ提出してください。

【応募書類】

- ① 御代田町まちづくり事業計画書 (様式第1号)・・・P7
- ② 団体調書 (様式1)・・・P22
- ③ 構成員名簿 (様式2)・・・P23

【添付書類】

- ④ 団体の規約または会則
- ⑤ 前年度収支決算書
- ⑥ 当該年度の収支予算書
- ⑦ その他事業説明書類 (実施箇所図など (必要があれば))

Ⅲ 御代田町まちづくり事業支援金交付要綱・様式

1. 御代田町まちづくり事業支援金交付要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、住民自らが創意工夫し企画したまちづくり事業に対し支援することにより、活動団体の自立促進を図るため当該活動に要する経費に対し、予算の範囲内で支援金を交付することについて御代田町補助金等交付規則（昭和50年御代田町規則第9号。以下「規則」という。）に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(支援対象団体)

第2条 支援金の交付の対象となる団体は、次の各号に掲げる要件に該当するものとする。

- (1) 町内に住所を有する者5人以上で構成する団体
- (2) 政治活動、宗教活動、営利活動、反社会的活動等を目的としない団体

(支援対象事業)

第3条 支援金の対象となる活動は、町内において申請年度に完了するもので、住民が主体で行うまちづくりの活動のうち、次の各号に掲げる要件を備えた事業とする。

- (1) 不特定多数の者の利益につながる事業（公共性）
- (2) 地域住民が協働し、コミュニティの形成ができる事業（協調性）
- (3) 独自の発想や新たな視点による事業（独創性）
- (4) 波及効果や新たな展開が期待できる事業（発展性）
- (5) 計画や費用に実現性・継続性が期待できる事業（実現性・継続性）
- (6) 他の補助を受けていない事業

(支援金の対象経費及び補助率)

第4条 支援金の交付の対象となる経費は、前条に規定する活動の実施に要する経費とする。

2 前項の規定にかかわらず、次の各号に掲げるものは、支援金の対象経費としない。

- (1) 団体の事務所等を維持するための経費
- (2) 団体の経常的な活動に要する経費
- (3) 団体の構成員による会合の飲食費
- (4) 団体の構成員に対する謝礼
- (5) 政治活動、宗教活動、営利活動、反社会的活動等を目的とする事業経費

3 補助率は、対象経費の2分の1以内とする。

(支援金の限度額等)

第5条 支援金は、1回につき20万円を限度とする。

2 支援金は、1,000円単位とし、1,000円未満の端数があるときは、これを切捨てる。

3 支援金の交付は、1団体につき2回とする。

(活動の募集)

第6条 活動の募集は、年2回までとし、応募しようとする団体は、御代田町まちづくり事業計画書(様式第1号)を町長に提出しなければならない。

(支援対象事業の選考及び通知)

第7条 町長は、前条の規定による応募があったときは、まちづくり事業支援金選定委員会の意見をもとに選考し、選考結果を御代田町まちづくり事業選考結果通知書(様式第2号)により、当該応募団体に通知するものとする。

(支援金の交付申請)

第8条 規則第3条第1項に規定する申請書は、御代田町まちづくり事業支援金交付申請書(様式第3号)により提出するものとする。

2 前項に規定する書類の提出期限は、町長が別に定める。

(支援金の交付決定及び通知)

第9条 町長は、前条の規定により申請を受け、支援金を交付することが適当であると認めるときは支援金の交付を決定し、御代田町まちづくり事業支援金交付決定通知書(様式第4号)により前条の申請書を提出した者に通知するものとする。

(支援金の概算払)

第10条 前条の規定により支援金交付決定通知書の通知を受けとった者(以下「支援金交付決定者」という。)が、規則第12条の規定による概算払を受けようとするときは、御代田町まちづくり事業支援金概算払請求書(様式第5号)により提出するものとする。

(支援事業の内容の変更等)

第11条 支援金交付決定者が、規則第9条の規定による事業内容の変更あるいは廃止をしようとするときは、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める書類の提出をもって行うものとする。

(1) 支援事業の内容を変更しようとするとき(対象経費の20パーセント以内の変更を除く。)御代田町まちづくり事業支援金変更承認申請書(様式第6号)

(2) 支援事業を廃止しようとするとき 御代田町まちづくり事業支援金交付廃止承認申請書(様式第7号)

(事前着手)

第12条 交付対象事業は、支援金の交付決定前に着手することはできない。ただし、事業の性質から事業の実施時期が年度当初に限定される場合その他町長がやむをえない事由があると認めた場合は、この限りではない。

2 支援対象団体は、前項ただし書きに該当する場合には、御代田町まちづくり事業支援金事前着手届(様式第8号)を町長に提出するものとする。

(実績報告)

第13条 規則第13条に規定する実績報告書は、御代田町まちづくり事業支援金実績報告書(様式第9号)により提出するものとする。

2 前項に規定する書類の提出期限は、支援事業の完了した日から起算して15日を経過した日又は支援金の交付決定があった日の属する年度の3月31日のいずれか早い日とする。

(支援金の額の確定)

第14条 町長は、前条の規定による実績報告を受けたときは、支援金等交付の決定の内容及びこれに付した条件に適合するものであるかを調査し、適合すると認めるときは、支援金の額を確定し、御代田町まちづくり事業支援金確定通知書(様式第10号)により通知するものとする。

(支援金の交付請求)

第15条 支援対象事業者は、支援金の交付を請求しようとするときは、御代田町まちづくり事業支援金交付請求書(様式第11号)により、確定通知を受理した日から10日以内に提出するものとする。

(委任)

第16条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

この告示は、公布の日から施行する。

(様式第1号)(第6条関係)

年 月 日

御代田町長 様

住 所

団体名

代表者

印

連絡先(電話)

(法人にあつては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名)

御代田町まちづくり事業支援金を受けるために以下の計画書を提出いたします。

御代田町まちづくり事業計画書

事業名	
実施団体名	
現状の課題	
事業の目的	
事業の内容 (事業の対象、 方法及び内容)	

事業のスケジュール	(開始) 年 月 日～ (終了) 年 月 日
見込まれる結果 及び成果	
事業の次年度以降の活動 計画及び自立計画	

経費内訳

単位：円

科 目	金額（うち支援金対象経費）	内 容
	()	
	()	
	()	
	()	
	()	
	()	
	()	
合 計	()	

資金計画

単位：円

名 目	金 額	内 容
小 計		
町支援金		
合 計		

支援金申請額 支援金対象経費の1/2以内 上限 20万円	円 (千円未満切捨て)
------------------------------------	----------------

(添付書類) 団体調書、規約又は会則、構成員名簿、前年度決算書及び本年度予算

(様式第2号)(第7条関係)

御代田町まちづくり事業選考結果通知書

第 号
年 月 日

団体名

代表者名 様

御代田町長 印

年 月 日付で申し込みのあった 年度の御代田町まちづくり事業支援金については、選考の結果、次のとおり決定しましたので通知します。

なお、交付対象事業に選ばれた場合は、同要綱第8条の規定による御代田町まちづくり事業支援金交付申請書により、年 月 日までに交付申請をされるよう通知します。

事業名	
選考結果	<input type="checkbox"/> 採択 <input type="checkbox"/> 不採択 交付内示額 円
備考	※ 本通知は、支援金の交付を約束するものではありません。 年度歳入歳出予算が 年 月 日までに御代田町議会で可決された場合において、別途交付申請をご提出いただき、改めて交付決定するものとなります。

(様式第3号) (第8条関係)

御代田町まちづくり事業支援金交付申請書

年 月 日

御代田町長 様

住 所

団体名

代表者

印

連絡先 (電話)

〔 法人にあつては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名〕

年度において、御代田町まちづくり事業を下記のとおり
実施したいので、支援金 円を交付してください。

記

1 事業名

2 事業の内容

3 完了予定年月日

(添付書類) 御代田町まちづくり事業支援金収支予算書

御代田町まちづくり事業支援金収支予算書

収入の部

単位：円

名 目	金 額	内 容
小 計		
町支援金		
合 計		

支出の部

単位：円

科 目	金額（うち支援金対象経費）	内 容
	()	
	()	
	()	
	()	
	()	
	()	
	()	
	()	
合 計	()	

(様式第 4 号) (第 9 条関係)

御代田町まちづくり事業支援金交付決定通知書

第 号
年 月 日

団体名
代表者名 様

御代田町長 印

年 月 日付けで申請のありました 年度御代田町まちづくり
事業支援金 円を次の条件を付して交付の決定をしましたので通知します。

支援金交付の条件

1. 支援金の対象となる事業内容は、年 月 日付け支援金交付申請書のとおりとする。
2. 事業実施にあたっては、御代田町補助金等交付規則（昭和 50 年御代田町規則第 9 号）及び御代田町まちづくり事業支援金交付要綱（平成 23 年御代田町告示第 号）に従うこと。
3. この支援金は、御代田町補助金等交付規則第 12 条の規定により、概算払いすることができる。（概算払い限度額は、交付決定額 50 パーセント（千円未満切捨て））概算払いを希望する団体は、御代田町まちづくり事業支援金概算払請求書（様式第 5 号）により申請するものとする。
4. 事業の実施報告書は、事業の完了した日から起算して 15 日を経過した日又は支援金の交付決定があった日の属する年度の 3 月 31 日のいずれか早い日を提出期限とする。
5. 支援金の額の確定は、決算額の 1/2 に事業選考時の減額割合を乗じて得た額（千円未満切捨て）とする。ただし、交付決定額を上限とする。

(様式第5号)(第10条関係)

御代田町まちづくり事業支援金概算払請求書

年 月 日

御代田町長 様

住 所
団体名
代表者 印
連絡先(電話)
〔法人にあつては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名〕

年 月 日付け 第 号で交付決定のあつた

年度支援金について、下記のとおり概算払いしてください。

記

- 1 交付決定額 円
- 2 概算払請求額 円
- 3 送金先

金融機関名	銀行 信用金庫 農協 信用組合 店 所										
口座の種類	当座 普通預金										
口座番号	<table border="1"><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table>										
口座名義											

(様式第6号)(第11条関係)

御代田町まちづくり事業支援金変更承認申請書

年 月 日

御代田町長 様

住 所
団体名
代表者 印
連絡先(電話)
〔法人にあつては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名〕

年 月 日付け 第 号で交付決定のあつた

年度御代田町まちづくり事業の内容を下記のとおり変更したいので、
承認してください。

記

- 1 変更の理由
- 2 変更の内容
- 3 その他

(様式第7号)(第11条関係)

御代田町まちづくり事業支援金交付廃止承認申請書

年 月 日

御代田町長 様

住 所
団体名
代表者
連絡先(電話) 印
〔法人にあつては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名〕

年 月 日付け 第 号で交付決定のあつた

年度御代田町まちづくり事業を下記のとおり廃止したいので、
承認してください。

記

- 1 活動の廃止の理由
- 2 活動の遂行状況
- 3 活動の廃止年月日
- 4 その他

(様式第8号)(第12条関係)

御代田町まちづくり事業支援金事前着手届

年 月 日

御代田町長 様

住 所
団体名
代表者 印
連絡先(電話)

〔法人にあつては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名〕

年度において、御代田町まちづくり事業支援金としての実施を申請する別紙事業について、下記のとおり交付決定前に着手しますので届け出ます。

なお、本件について、交付決定がされなかった場合においても異議は申し立てません。

記

1 事業の名称

2 事前着手の理由

3 着手及び完了予定年月日

※別紙は、御代田町まちづくり事業計画書(様式第1号)(第6条関係)によること。

(様式第9号)(第13条関係)

御代田町まちづくり事業支援金実績報告書

年 月 日

御代田町長 様

住 所
団体名
代表者 印
連絡先(電話)
〔法人にあつては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名〕

年 月 日付け 第 号で交付決定のあつた

年度御代田町まちづくり事業を下記のとおり実施しましたので報告します。

記

活動の内容

- (添付書類) (1) 御代田町まちづくり事業支援金収支決算書
(2) 活動実施状況の写真、資料等
(3) 領収書等の写し

御代田町まちづくり事業支援金収支決算書

収入の部

単位：円

名 目	金 額	内 容
小 計		
町支援金		
合 計		

支出の部

科 目	金額（うち支援金対象経費）	内 容
	()	
	()	
	()	
	()	
	()	
	()	
	()	
合 計	()	

(様式第 10 号) (第 14 条関係)

御代田町まちづくり事業支援金確定通知書

第 号
年 月 日

団体名
代表者名 様

御代田町長 印

年 月 日付け 第 号で交付決定した御代田町まちづくり
事業支援金の額を 円と確定します。

(様式第11号) (第15条関係)

御代田町まちづくり事業支援金交付請求書

年 月 日

御代田町長 様

住 所
団体名
代表者
連絡先 (電話) 印
〔法人にあつては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名〕

年 月 日付け 第 号で確定のあつた

年度支援金を下記のとおり交付してください。

記

- 1 確 定 額 円
- 2 概算払を受けた額 円
- 3 請 求 額 円
- 4 送 金 先

金 融 機 関 名	銀 行 信 用 金 庫 農 協 信 用 組 合 店 所										
口 座 の 種 類	当 座 普通預金										
口 座 番 号	<table border="1"><tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr></table>										
口 座 名 義											

(様式1)

団 体 調 書

事 業 名			
団 体 名			
団 体 の 活 動 拠 点	所 在 地	〒 御代田町	
	電 話 番 号		
代 表 者	氏 名		
	住 所	〒 御代田町	
	電 話 番 号		
	E - m a i l	@	
連 絡 責 任 者	氏 名		
	住 所	〒 御代田町	
	電 話 番 号		
	E - m a i l	@	
設 立 年 月 日	年	月	日
団体の主な事業・活動実績 (内 容 、 地 域)			

(様式2)

構 成 員 名 簿

No.	氏 名	役 職	住 所	備 考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

【事業計画書記載例】

(様式第1号) (第6条関係)

平成23年8月1日

御代田町長 茂木 祐司 様

住 所 御代田町大字御代田△△△番地△△

団体名 □□□□□□□

代表者 ○○ ○○ 印

連絡先(電話) 32-XXXX

〔 法人にあつては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名 〕

御代田町まちづくり事業支援金を受けるために以下の計画書を提出いたします。

御代田町まちづくり事業計画書

事業名	歩こう御代田町を「ウォーキングで健康づくり」事業
実施団体名	□□□□□□□会
現状の課題	高齢化や健康指向が高まる中で健康づくりには多くの人が関心を寄せ、中でもウォーキングについては、すぐに実践できるものとして人気が高まっている。しかしながら、効果のある正しいウォーキング方法について知る人は少ないのが現状となっている。
事業の目的	正しいウォーキングの普及並びに健康に関する意識の醸成を図り、明るく健康に暮らせるまちづくりを目指す。町民に広く参加者を募り、会員がインストラクターの資格を取得することにより、次年度からは少ない費用負担での開催が可能となり、継続していくことで健康なまちづくりの広がりが期待できる。
事業の内容 (事業の対象、 方法及び内容)	専門の講習を受けウォーキングインストラクターの資格を取得し、広く募集した各回約20人を対象にした正しいウォーキング教室を5回開催する。合わせてウォーキングマップを作成する。また、講座のまとめとして、広く大勢の人が参加できるシンポジウムを開催する。シンポジウムでは、パネル展示、マップ配布等を行い、健康に対する意識の啓発を図る。

事業のスケジュール	<p>(開始) 平成 23 年 9 月 10 日～ (終了) 平成 24 年 3 月 11 日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングインストラクター資格取得 11 月 ・講座開催 12 月～2 月 (計 5 回) ・マップ作成 12 月～2 月 ・シンポジウム開催 3 月 11 日
見込まれる結果及び成果	<p>正しいウォーキングが普及されると共に健康に対する町民の意識の醸成を図ることができる。ウォーキングマップを配布するなど活動を広げることにより、健康なまちづくりに寄与することができる。</p> <p>事業初年度であり、キックオフイベントとしてシンポジウムを開催し活動や成果の発表を行うことにより、より広く町民の健康づくりへの関心を高めることができる。</p>
事業の次年度以降の活動計画及び自立計画	<p>御代田町まちづくり事業支援金により、会員インストラクター資格の取得、ウォーキングマップの作成等のスタートにかかる費用の必要がなくなることから、毎年度健康づくり講座の開催が可能となる。</p> <p>毎年度、会員による手による手づくりの講座を開催することで、協賛金並びに参加費等により費用を賄うことが可能となる。</p>

経費内訳

単位：円

科 目	金額（うち支援金対象経費）	内 容
謝金・賃金	130,000（130,000）	シンポジウム講師謝礼、インストラクター資格取得経費（3人）
旅費	72,000（72,000）	資格取得旅費（3人×2回）
消耗品	30,000（30,000）	シンポジウム展示パネル製作
印刷製本費	250,000（250,000）	ポスター・チラシ・マップ印刷
食糧費	40,000（0）	参加者交流会経費
	（ ）	
	（ ）	
合 計	522,000（482,000）	

資金計画

単位：円

名 目	金 額	内 容
自己資金	191,000	自己資金
寄付金・協賛金	100,000	協賛金
懇親会参加費	40,000	1,000円×40人
小 計	330,000	
町支援金	191,000	
合 計	522,000	

支援金申請額 〔 支援金対象経費の1/2以内 上限 20万円 〕	191,000円 (千円未満切捨て)
--	-----------------------

(添付書類) 団体調書、規約又は会則、構成員名簿、前年度決算書及び本年度予算

【団体調書記載方法】

(様式1)

団 体 調 書

事業名		
団体名	事業計画書の内容を記入してください。	
団体の活動拠点	所在地	〒 御代田町
	電話番号	
代表者	氏名	
	住所	〒 御代田町
	電話番号	
	E-mail	@
連絡責任者	氏名	
	住所	〒 御代田町
	電話番号	
	E-mail	@
設立年月日	年 月 日	
団体の主な事業・活動実績 (内容、地域)	現在までに団体が実施した事業・活動内容及び活動地域を記入してください。 新規設立団体・活動実績のない団体は未記入でもかまいません。	

【構成員名簿記載方法】

(様式2)

構 成 員 名 簿

No.	氏 名	役 職	住 所	備 考
1				
2			住所は、番地まで記入してください。	
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

構成員が多い場合は、他〇名と欄外に記入してください。

IV 御代田町まちづくり事業支援金活用事業

■平成 23 年度実施事業

○馬瀬口のエントランスを花いっぱいにする事業（馬瀬口区）

【 総事業費：401,362 円 支援金額：200,000 円 】

馬瀬口バイパスと町道塩野馬瀬口線との交差点部分に、ツツジやサツキを植栽しました。今後も馬瀬口区民の手で植栽を管理していきます。

実施にあたっては、植栽場所が県道敷地であるため、県と馬瀬口区とで管理に関する協定を締結しました。



■平成 24 年度実施事業

○ファミリーサポート協力会員養成研修事業（御代田町社会福祉協議会）

【 総事業費：429,477 円 支援金額：200,000 円 】

地域で安心して子育てができるよう、核家族や仕事している両親をサポートするファミリーサポート協力会員を養成するための研修を実施しました。

研修を修了した 25 名が協力会員として登録され、今後、地域での子育てサポート、応援に活躍します。



○みよた夢プロジェクト（御代田町観光協会）

【 総事業費：445,200 円 支援金額：200,000 円 】

平成 23 年度に誕生した御代田町のキャラクター「みよたん」のストラップを作成することにより、町内での「みよたん」の浸透を図りました。

作成したストラップは、町内の保育園、幼稚園、小学校にみよたんが伺い、1,450 人の子どもたちへ配布しました。



○町の桜で作ったコカリナを奏でよう！（町の桜で作ったコカリナを奏でよう実行委員会）

【 総事業費：357,000 円 支援金額：178,000 円 】

町道の桜から楽器「コカリナ」を作成し、町内の小学校 6 年生にプレゼントしました。プレゼントされた小学生は練習に励み、音楽会や集会等でコカリナの音色を披露しました。

また、小学生と町内の愛好者との交流会も開催し、音楽文化の振興を図りました。



○蝶の夢街道創設事業（まちづくり協議会御代田）

【 総事業費：415,852円 支援金額：200,000円 】

御代田町内に人を呼び込めるような景観づくりをめざし「蝶の夢街道」を設定し、了承を得られた土地に蝶の食草である「フジバカマ」を植栽しました。フジバカマは海を渡ること知られる「アサギマダラ」などが食べます。



■平成 25 年度実施事業

○馬瀬口区区誌の作成（馬瀬口区）

【 総事業費：1,585,500円 支援金額：200,000円 】

先人が築いてきた伝統文化を後世に末永く継承し、希薄となった故郷を愛する想いを醸成するため、馬瀬口区区誌を作成しました。



○町の桜で作ったコカリナを奏でよう！（町の桜で作ったコカリナを奏でよう実行委員会）

【 総事業費：487,691円 支援金額：200,000円 】

町道雪窓向原線の桜並木の木から楽器「コカリナ」を作成し、町内の小学校の5・6年生全員にプレゼントしました。プレゼントされた小学生は練習に励み、校内音楽会や終業式でコカリナの音色を披露しました。



○パーカッションコンサート in みよた（あつもりミュージックメイツ）

【 総事業費：404,685円 支援金額：200,000円 】

プロの打楽器演奏者3名によるパーカッション(打楽器)コンサートを開催しました。

町内の学校で打楽器を演奏している

生徒を無料招待し、プロの演奏を体験してもらい、音楽の楽しさや素晴らしさを知ってもらいました。



○東日本大震災復興チャリティイベントみよた

(東日本大震災復興チャリティイベントみよた実行委員会)

【総事業費：1,003,063円 支援金額：200,000円】

3.11 東日本大震災から2年以上が経過した今、復興への想いと「つながる心」を形に表すため、チャリティイベントを開催しました。イベントでは、大槌町職員の方による被災地の様子や復興に向けた取り組み状況についての講演、大槌町伝統芸能の演舞、コンサート等を行い、参加された方一人ひとりが被災地の想いを強く感じる事が出来ました。



○新そば交流会を通じて「みよた蕎麦（地場特産品）」の普及促進と遊休農地の開発により有効化を図る（まちづくり協議会みよた）

【総事業費：608,523円 支援金額：200,000円】

地場特産品としての「みよた産そば」の栽培・収穫を体験できる「新そば交流会」を実施しました。交流会には大勢の方が参加し、「みよた産そば」の普及促進を図ることが出来ました。



■平成26年度実施事業

○マンローウォーキング大会（マンローウォークの会）

【総事業費：200,029円 支援金額：100,000円】

全身運動で、短時間で高い効果が認められるノルディックウォークの普及を進めるための大会を開催しました。

初心者が多く参加し、ノルディックウォーク人口の増加に繋がりました。



○東日本大震災復興チャリティイベントみよた
(東日本大震災復興チャリティイベントみよた実行委員会)

【 総事業費 :1,224,607 円 支援金額 : 200,000 円 】

平成 25 年度に引き続き、チャリティイベントを行いました。あつもりホールの 300 席が埋まり、大変盛況でした。

まちづくり事業支援金、入場料、協賛金などを合わせて当初の予算規模で開催でき、来年以降の事業継続に目途が付きしました。



○金管アンサンブル・コンサート (あつもりミュージックメイツ)

【 総事業費 :490,315 円 支援金額 :200,000 円 】

日本屈指の楽団シエナ・ウインド・オーケストラのメンバーによる金管五重奏コンサートを開催し、大変盛況でした。

また、中学校を会場として、小中学生に演奏者から指導をしていただきました。



○旅する蝶、あさぎまだらを見玉に呼ぼう (見玉アサギマダラの会)

【 総事業費 :357,510 円 支援金額 : 155,000 円 】

見玉区世代間交流センターに隣接する空き地を利用して、旅する蝶「アサギマダラ」の吸蜜草を整備し、作業や観察会で高齢者から子どもまで、交流を深めました。

初年度から「アサギマダラ」が飛来し、期待以上の成果となりました。



○誰もが気軽に立ち寄れる 地域の縁側事業（御代田町社会福祉協議会）

【 総事業費 :354,212 円 支援金額 : 171,000 円 】

地域の民家を活用し、一人暮らし高齢者の孤立防止や子育て中の家族が悩みを抱え込まないための集いの場として、また、介護者の方やその家族の方が気軽に集える居場所・地域の縁側として、「地域の縁側 あさひ」を開所しました。

多くの人が集まり、「地域の縁側」は浸透しつつあります。



■平成 27 年度実施事業

○豊昇区（豊昇花いっぱい花壇造成事業）

【 総事業費 :266,026 円 支援金額 : 133,000 円 】

やまゆりの咲く里山と、豊昇区世代間交流センターに近接する町道沿いの旧道路敷を利用して区役員と豊寿会により花壇を造成しました。

地域の美化意識が高まり、区民の交流が深まりました。



○マンローウォーキング大会（マンローウォークの会）

【 総事業費 :213,306 円 支援金額 : 100,000 円 】

全身運動で、短時間で高い効果が認められるノルディックウォークの普及を進めるための大会を開催しました。

初心者が多く参加し、ノルディックウォーク人口の増加に繋がりました。



○旅する蝶、あさぎまだらを見玉に呼ぼう（見玉アサギマダラの会）

【 総事業費 :400,000 円 支援金額 : 175,000 円 】

見玉区世代間交流センターに隣接する空き地を利用して、旅する蝶「アサギマダラ」の吸蜜草を整備し、作業や観察会で高齢者から子どもまで、世代間での交流が深まりました。

今年度も「アサギマダラ」が飛来し、期待以上の成果となりました。



○信州スポーツを楽しもう@御代田（御代田町商工会青年部）

【 総事業費 :95,070 円 支援金額 : 47,000 円 】

御代田町の小中学生を対象にプロバスケットチームを招き、バスケットボールを通じて子供たちの慢性的な運動不足の解消と信州のスポーツを楽しんで交流することができ、プロ選手から直接指導を受けることができました。



御代田町まちづくり事業支援金 Q & A

Q 1 支援金を活用するため、新たに設立する団体も申請できますか？

A 可能です。ただし、町内に住所を有する方5名以上で構成し、団体の規約等を定め、会計や監査について規定していることが必要です。

Q 2 ひとつの団体でふたつ以上の事業を申請できますか？

A できます。ただし、事業内容が明らかに異なっている場合に限りませんが、1団体で採択は2回までとなっています。

Q 3 構成員が5人以下です。今後5人以上となる予定ですが申請できますか？

A できません。申請時点で5人に達していることが条件です。

Q 4 他の助成制度へも申請していますが、どのような取り扱いになりますか？

A 複数の支援制度に同時に申請し、御代田町まちづくり事業支援金以外の助成制度に採択された場合は、本支援金を利用することはできません。

Q 5 区（自治会）で行っている活動は対象事業になりますか？

A 定例的に行っている活動は対象になりません。ただし、新たな活動を行う場合は対象になります。

Q 6 備品を購入したいのですが、交付対象経費となりますか？

A 備品の購入は交付対象経費になりません。なお、備品については、町の取

り扱いと同様 3 万円以上の物品とします。また、物品を購入するだけの事業については、申請することができませんが、事業を実施する上で必要な 3 万円未満の物品の購入費は交付対象経費となります。

Q7 人件費は交付対象経費となりますか？

A 団体の運営に関する人件費は交付対象経費となりません。事業実施の際の団体構成員の日当についても対象外ですが、イベントや講演会を行う際の構成員以外のインストラクターや講師に支払う謝礼は対象になります。

Q8 事業実施時のお弁当やお茶などは交付対象経費となりますか？

A 食料費は一切対象になりません。

Q9 団体構成員の旅費は交付対象経費となりますか？

A 事業実施のために必要な実務講習会などの旅費は交付対象経費になりますので、チラシや受講証などの書類を提示してください。また、単なる先進地視察などの旅費は対象外です。

Q10 事業を行った際に収益ができました。

A イベントの参加費、チケットや物品の売上などの収益を構成員に分配することはできません。事業収入として計上し、事業費から控除してください。当初見込んでいた額より収益が増えた場合は、本支援金額が減額となる場合があります。

Q11 支援金はいついただけますか？

A 事業が終了して実績報告を提出いただき、支援金額が確定した後でお支払いします。なお、交付決定額の10分の5以内の額であれば、事業実施中でも概算払としてお支払いすることができます。

Q12 当初予定よりも事業経費が増えてしまいました。

A 原則として交付決定した金額を超えて支援金を交付することはできません。申請の際に事業費の精査をお願いします。

御代田町企画財政課

住 所：〒389-0292 長野県北佐久郡御代田町大字御代田 2464-2

電 話：0267-32-3112（内線53）

F A X：0267-32-3929

e-mail：miyota@town.miyota.nagano.jp